

MINI REPORT 2009

ミニレポート 2009

2009年9月期 上半期ディスクロージャー誌





■ 埼玉県信用農業協同組合連合会 (平成21年9月末現在)

本店所在地	〒330-9001 さいたま市浦和区高砂3丁目12番9号
電話番号	048(829)3504(代表)
設立	昭和23年8月
従業員数	196名
貯金残高	24,851億円
貸出金残高	2,820億円
出資金	941億円
自己資本比率	22.38%

目次

CONTENTS

□ごあいさつ	1
□JAグループ	2
□JAバンクシステム	2
□JAバンク・セーフティーネット	2
□経営方針	3
□業績	4
□リスク管理債権及び金融再生法開示債権	5
□有価証券等の時価情報	6
□地域貢献活動	6
□店舗等一覧	9
□情報提供活動	9

ご あ い さ つ

平素より私ども埼玉県信用農業協同組合連合会(愛称/J Aバンク埼玉県信連)をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

この度、当会の事業・経営に関する平成21年度中間期の業務概況を取りまとめた「ミニレポート 2009」を作成いたしました。この小冊子をご高覧いただき、当会に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

さて、最近の金融情勢は、昨年秋以降の世界的な金融危機の影響から国内景気は急速に悪化しましたが、政府の経済対策による内需回復の兆しや、欧米景気の底打ちにより、国内経済は持ち直しの動きを見せております。しかし、雇用の悪化等、依然として景気に対する不安感が払拭されないなか、金融機関は、より強固な財務基盤の拡充とともに、リスク管理、法令遵守、内部統制など内部管理態勢の拡充のほか、利用者保護に向けた取り組みが益々求められております。

また、メガバンク、ゆうちょ銀行のリテール金融サービス強化に加え、地方銀行等による農業融資分野への参入攻勢等、業態を越えた顧客争奪が更に激化しております。

一方、農業面につきましては、世界的な大不況と食糧の安定供給が懸念されるなか、原油、肥料、飼料等生産資材の価格高騰、耕作放棄地の拡大、食料自給率の低下等により、わが国の農業経営は一層の厳しさを増しており、農地の利活用や「担い手」の確保・育成等、国内資源を最大限に活用し、安全・安心な農畜産物の増産と食糧自給率の向上を実現することが喫緊の課題となっております。

このようななか、当会は、平成19年度から平成21年度にわたる「第9次中期経営計画」の最終年度として各施策を鋭意実践し、埼玉県農業と経済の発展に寄与するとともに、お客様の期待と信頼に応える地域金融機関として、より一層の経営努力を行ってまいります。

また、J A・信連との一体的事業運営をさらに強化し、「J Aバンク埼玉」としての基盤拡充・競争力の強化を図るとともに、リスク管理の徹底に努めてまいり所存でございますので、引き続き格別のご支援とご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

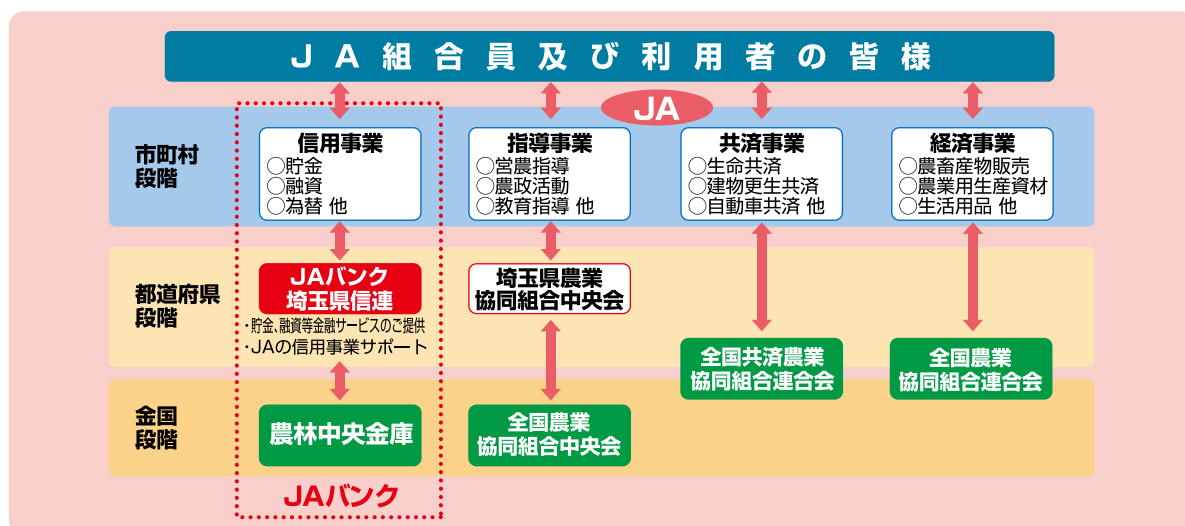
平成21年12月

経営管理委員会会長 江 原 正 視
代表理事理事長 宮 崎 信 夫

JAグループ

JAグループは、組合員組織を基盤に、市町村段階のJA、各事業別の都道府県段階並びに全国段階の連合会組織で構成し、それぞれが機能を分担し、信用・経済・共済・厚生・指導等の各事業を展開しており、特に信用事業においては、JA、信連、農林中金で構成するグループを「JAバンク」と総称しております。

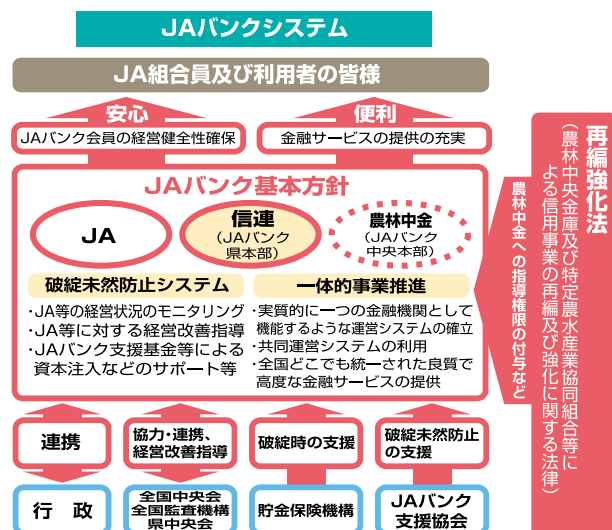
当会は、埼玉県における信用事業の連合会として、県下JAの事業運営をサポートするとともに、地域金融機関としてJAと一体となって、地域の皆様のお役にたつ金融サービスをご提供できるよう努めております。



JAバンクシステム

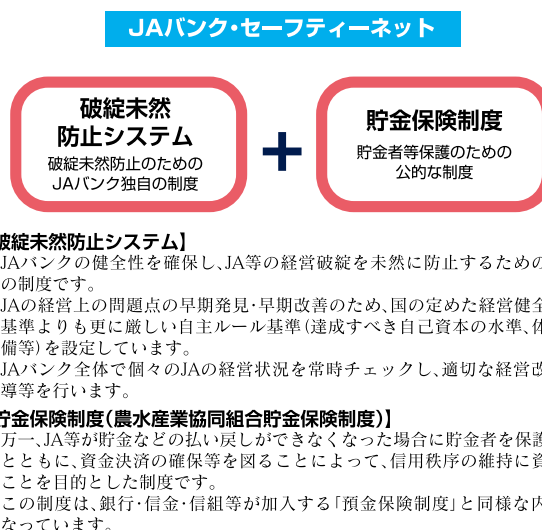
組合員・利用者の皆様により一層の「便利」と「安心」をお届けするため、「JAバンク基本方針」に基づき、JA・信連・農林中金が一体的に事業に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

当会は、このシステムを確実に機能させるため、「JAバンク埼玉県本部」としての役割を發揮しております。



JAバンク・セーフティーネット

JAバンクでは、組合員・利用者の皆様により一層の「安心」をお届けするため、JAバンク独自の制度である「破綻未然防止システム」と公的な制度である「貯金保険制度」により、「JAバンク・セーフティーネット」を構築しております。



経営方針

当会は、効率的な業務運営のもとに、ＪＡと一体となって強固な経営基盤並びに「ＪＡバンク埼玉」を確立し、経営理念として「ＪＡとともに顧客の期待と信頼に応え、地域経済の発展に寄与する金融機関（ＪＡバンク）を目指す。」ことを掲げ、事業運営を行っております。

このような経営理念を踏まえ、平成21年度は「第9次中期経営計画」（平成19年度～平成21年度）の最終年度として、掲げた経営目標の達成に向け、役職員一体となって基本戦略及び個別戦略の実践に取り組んでおります。

経営理念

ＪＡとともに顧客の期待と信頼に応え、地域経済の発展に寄与する金融機関（ＪＡバンク）を目指す。

経営姿勢

当会は効率的な業務運営のもと、ＪＡと一体となって強固な経営基盤並びにＪＡバンク埼玉を確立する。

第9次中期経営計画 (平成19年4月～平成22年3月)

経営戦略

信連の経営基盤の強化

1. 運用力強化による収益の確保
2. 財務基盤の強化
3. 経営管理体制の取組強化
4. 効率的な業務運営体制の構築
5. 人材育成と職員の意識改革
6. 社会的責任と地域貢献活動

ＪＡバンク埼玉の経営基盤の強化

1. 核となる顧客基盤の拡充
2. リテール市場における競争戦略の展開
3. 経営管理体制の高度化

対処すべき課題

今後当会が取り組むべき課題を次のとおりとし、課題克服に向け重点施策を強力に実践してまいります。

第1 信連の経営基盤の強化

- 資金の効率運用による収益力強化
- 自己資本増強計画に基づく更なる自己資本の拡充
- 新ＢＩＳ規制を踏まえたリスク管理態勢の強化
- コンプライアンスを重視した内部統制の強化

第2 ＪＡバンク埼玉の経営基盤の強化

- 住宅ローンを中心としたＪＡバンクローンの伸長
- 安定的資金確保並びに家計メイン化に向けた年金・カード推進
- 農業担い手への金融面での対応強化
- 大口利用者への相談機能の充実・強化

業績

平成21年9月末の業績につきましては、経済・金融動向を踏まえ、リスク管理を徹底したなかで約30億円の当期剰余金を計上することができました。

また、自己資本比率は、JAバンクシステムで定めた8%基準を上回る22.38%で推移しております。

主な業績及び経営指標の推移

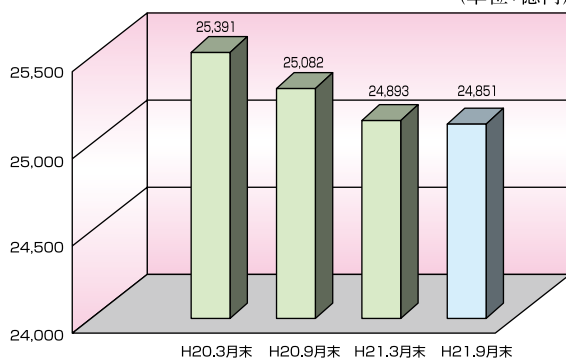
(単位:百万円,%)

	平成20年9月末	平成21年3月末	平成21年9月末
貯金	2,508,218	2,489,369	2,485,126
貸出金	224,884	285,421	282,094
預け金	1,566,452	1,416,463	1,425,500
有価証券	759,223	780,832	809,389
経常利益	3,176	3,649	3,693
当期剰余金	3,002	4,306	3,049
自己資本比率	19.41	17.99	22.38

(注) 自己資本比率は、金融庁・農林水産省告示第2号農業協同組合等がその健全性を判断するための基準に基づき算出しております。

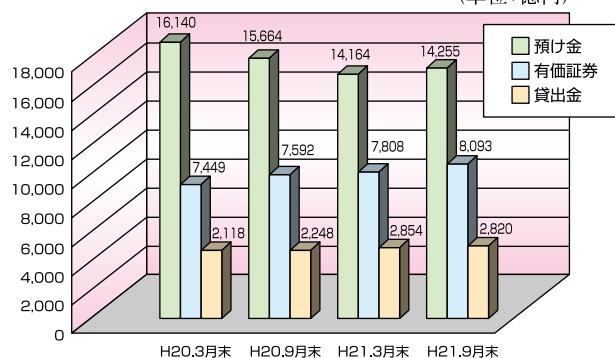
貯金残高推移

(単位:億円)



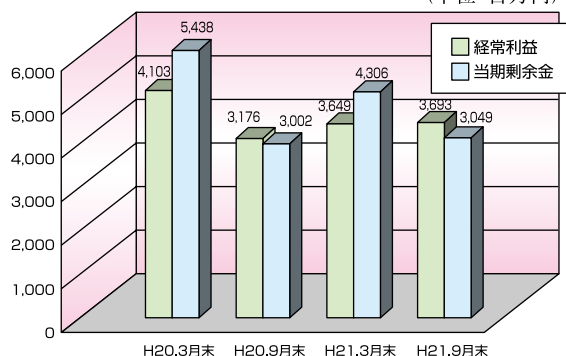
資金運用の状況

(単位:億円)



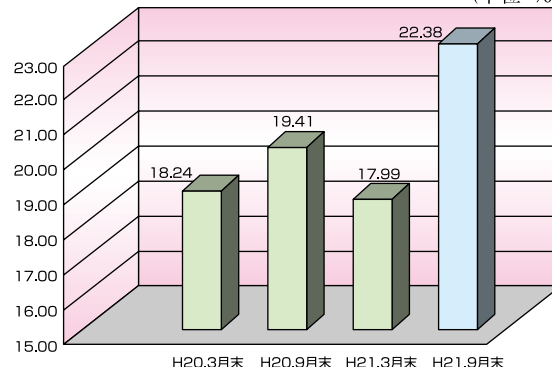
損益の状況

(単位:百万円)



自己資本比率の推移

(単位:%)



(注) 平成20年9月末及び平成21年9月末の経常利益、当期剰余金並びに自己資本比率は、各期の仮決算結果に基づき算出したものです。

リスク管理債権及び金融再生法開示債権

農業協同組合法に基づくリスク管理債権

(単位:百万円)

債権区分	H21.3月末	H21.9月末	増 減
破綻先債権	925	985	59
延滞債権	990	1,198	208
3カ月以上延滞債権	2	1	△0
貸出条件緩和債権	—	—	—
リスク管理債権合計	1,917	2,185	268

(注1)破綻先債権

元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していること、その他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金(貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸出金」という。)のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金をいいます。

(注2)延滞債権

未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸出金をいいます。

(注3)3カ月以上延滞債権

元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3月以上遅延している貸出金で、破綻先債権及び延滞債権に該当しないものをいいます。

(注4)貸出条件緩和債権

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破綻先債権、延滞債権、3カ月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

【保全状況】

(単位:百万円、%)

債権区分	債権額 (A)	保 全 額			保全率 (B)/(A)
		担保・保証等	貸倒引当金	合計(B)	
破綻先債権	985	747	233	980	99.51
延滞債権	1,198	344	823	1,167	97.40
3カ月以上延滞債権	1	1	—	1	100.00
貸出条件緩和債権	—	—	—	—	—
リスク管理債権合計(C)	2,185	1,093	1,056	2,150	98.36
貸出金残高(D)	282,094				
リスク管理債権比率	0.77				

(注) リスク管理債権比率 = (C) / (D) × 100

金融再生法に基づく開示債権

(単位:百万円)

債権区分	H21.3月末	H21.9月末	増 減
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	1,032	1,090	58
危険債権	925	1,133	208
要管理債権	2	1	△0
小 計	1,959	2,226	267
正 常 債 権	284,886	281,211	△3,674
開示対象債権合計	286,845	283,438	△3,407

(注1)破産更正債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

(注2)危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

(注3)要管理債権

3カ月以上延滞債権で(注1)及び(注2)に該当しないもの並びに貸出条件緩和債権をいいます。

(注4)正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題のないものとして、(注1)から(注3)までに掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

【保全状況】

(単位:百万円、%)

債権区分	債権額 (A)	保 全 額			保全率 (B)/(A)
		担保・保証等	貸倒引当金	合計(B)	
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	1,090	784	301	1,085	99.53
危険債権	1,133	308	793	1,101	97.16
要管理債権	1	1	—	1	100.00
小 計 (C)	2,226	1,094	1,095	2,189	98.32
正 常 債 権	281,211				
開示対象債権合計(D)	283,438				
不良債権比率	0.78				

(注) 不良債権比率 = (C) / (D) × 100

(注) 平成21年9月末の計数は、9月末の仮決算において3月末決算と同一に自己査定要領により実施した自己査定結果、並びに資産の評価及び償却・引当計上要領に基づき計上したものです。

有価証券等の時価情報

当会の有価証券等の時価及び評価差額等に関する事項は次のとおりです。

(単位:百万円)

区 分	平成21年3月末			平成21年9月末		
	取得価額	時 価	評価損益	取得価額	時 価	評価損益
売 買 目 的	—	—	—	—	—	—
満 期 保 有 目 的	383,329	384,271	942	413,018	420,445	7,426
そ の 他	399,202	397,503	△1,698	390,151	396,370	6,219
合 計	782,531	781,775	△756	803,170	816,815	13,645

(注1) 9月末の有価証券の時価は、9末日における市場価格等に基づく時価により計上しております。

(注2) 満期保有目的の債券並びにその他有価証券の取得価額は、償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。

地域貢献活動

事業を通じた地域貢献活動

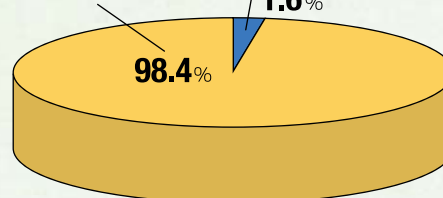
当会がお預かりしている資金の大半は、県内のJAにお預けいただいた組合員・利用者の皆様の大切な貯金を財源としております。そしてこれらの資金は、融資業務を通じて、農業関連法人をはじめとする地域の企業・団体や地方公共団体等にご活用いただいているとともに、農業専門金融機関として、農業担い手の経営をサポートしております。

資金調達状況

平成21年9月末の当会の貯金残高は約2兆4,851億円となっており、うち約2兆4,441億円を県内JAからお預かりしております。

また、JAや農業団体だけではなく、地域金融機関として地方公共団体や地元企業からも広く資金をお預かりしております。

JAからのお預かり分 2兆4,441億円
自己調達分 409億円



貯金残高 2兆4,851億円
(H21.9月末)

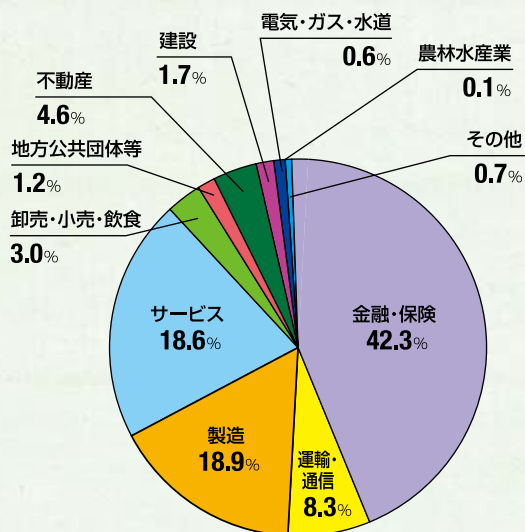
資金供給の状況

■業種別の貸出金残高の構成

地域経済の発展に寄与する金融機関（ＪＡバンク）という経営方針から、農業金融はもとより地域の企業や個人の皆様の幅広い資金ニーズに迅速・的確にお応えするよう努めてまいります。

また、(株)日本政策金融公庫等の受託金融機関として、農業・住宅などの制度融資の窓口となっております。

さらに、埼玉県債の引受けによる資金は、県の公共事業、社会福祉活動等へ利用されております。



貸出金残高 2,820億円
(H21.9月末)

■地域密着型金融への取り組み

むさしの村において開催されました「夏の農機大展示会」に参加し、「担い手応援ローン」、「ＪＡ農機ハウスローン」、「アグリスーパー資金」等の担い手向け金融商品のＰＲを行うとともに、「農業資金融資相談窓口」を設置し、融資相談を行いました。

また、農業経営の効率化・高度化に取り組む農業者の支援を目的に「アグリサポート利子助成事業」を実施し借入負担の軽減を行いました。

ＪＡと一体となって農業融資態勢の強化に取り組んでまいります。



夏の農機大展示会

平成21年7月25日・26日 むさしの村にて

資金名	資金の使いみち
担い手応援ローン	○個人…農業生産に直結する運転資金 ○法人…農業経営に必要な運転資金
ＪＡ農機ハウスローン	○農機具の購入、修理等のための資金 ○パイプハウス資材、建設費用 ○格納庫建設資金 ○他金融機関の農機具等ローンの借換資金
アグリスーパー資金	○農業生産、農業経営に必要な運転資金

文化的・社会的貢献に関する事項

当会は本来の事業活動に加え、地域金融機関として、自然環境維持・地域文化活動・福祉など、地域に対する貢献活動を実施しております。これからも様々な活動を通じて地域社会の発展と繁栄に貢献してまいります。

埼玉森林サポータークラブへの助成

県内で森林保護ボランティア活動を実施しているNPO法人「埼玉森林サポータークラブ」に対し役職員からの寄付金並びに当会からの助成金を進呈いたしました。



平成21年9月9日
当会江原会長より埼玉森林サポータークラブ
北村会長(左)へ目録を進呈

ゲートボール、グラウンド・ゴルフ大会

「埼玉県農協年金友の会連絡協議会」との共催により、ゲートボール大会、グラウンド・ゴルフ大会を開催し、年金友の会の活性化並びに、地域の皆様の健康づくり、仲間づくり等に協力しております。



埼玉県農協年金友の会グラウンド・ゴルフ大会
平成21年5月21日 彩の国くまがやドームにて

彩の国食と農林業ハーモニーフェスタ

数々の特産品が一堂に会する埼玉県と農業団体の主催するフェスティバルを積極的に支援、参画しております。

これらのフェスティバルを通じて、JAバンク埼玉のPR活動に取り組むとともに、地域の皆様との交流を深めております。



2009年彩の国食と農林業ハーモニーフェスタ
平成21年5月23日～24日 川越市にて

エコキャップ運動への取り組み

ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に参加。本年度は10,080個(ワクチン:12.6人分)のキャップを回収し、エコキャップ推進協会に届けました。



○JAバンク食農教育応援事業

次代を担う子どもたちが、食料を生産する「農」の役割や重要性、自然・社会環境と「農」とのつながり等について学び、農業に対する理解を広げていただけるよう、「農業と食」「農業と環境」「農業と経済」等をテーマとする教材本等を、県内の小学校に贈呈させていただきました。

店舗等一覧

■営業店舗

(平成21年9月末現在)

名称	所在地	代表電話番号	FAX番号
本店	〒330-9001 さいたま市浦和区高砂3丁目12番9号	048(829)3504	048(829)3588

■推進拠点

(平成21年9月末現在)

名称	所在地	代表電話番号	FAX番号
浦和事業推進部	〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2丁目16番6号	048(829)3010	048(829)3013
熊谷事業推進部	〒360-0031 熊谷市末広1丁目62番地	048(524)9711	048(525)4543
春日部事業推進部	〒344-0067 春日部市中央1丁目52番地8	048(737)6111	048(736)4434

情報提供活動

■ホームページのご案内

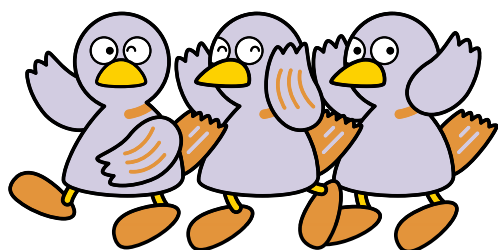
ホームページには、当会の概要や経営・財務情報をはじめ、各種金融商品の最新情報、JAバンク埼玉の各種お知らせなどを掲載しております。
皆様からの積極的なアクセスをお待ちしております。



<http://www.jabank-saitama.or.jp>



笑顔あふれる
やさしい未来へ。



埼玉県のマスコット“コバトン”

〒330-9001さいたま市浦和区高砂3丁目12番9号
TEL 048(829)3504
<http://www.jabank-saitama.or.jp>